

会社	会社名	アズビル株式会社		
概要	従業員数	5,146 人	業種	電気機器

1. ねらい

今年度のWLB施策は、「恒常的長時間残業の削減」と「年次有給休暇取得促進」に注力している。ねらいは、「①社員の健康向上、②効率的でメリハリのある仕事の実践、③心身のリフレッシュと自己啓発により自らを高める」ことであり、これらを通じて「成果創造を重視した働き方に変革」することである。

目指す姿は、社員がやりがいと誇りを持って仕事にとりくみ、私生活も生き生きと充実し過ごすこと。

2. 施策内容

①ワークライフバランス推進体制

・中期経営目標に掲げた「CSRの確立実行」をグループ一体となって推進・展開するために、azbilグループCSR推進会議が設けられており、そのとりくみ領域の一つである「人を重視した経営の推進部会（人事部担当）」において、経営承認のもとにワークライフバランス推進に係わる毎年の取り組み目標、施策を定め、社内への指示および実行状況の評価とフォローおよび経営報告を行っている。

②「恒常的長時間残業の削減」と「年次有給休暇取得促進」

（恒常的長時間残業の削減）

- ・長時間残業者が多いカンパニー部門での残業削減プロジェクトの立ち上げ、推進（経営層リードによる業務の流れ全体からみた抜本的改革の推進）
- ・全社的人員再配置による事業構造の変革と負荷の平準化、
- ・人材の育成強化（教育推進体制整備、再配置教育の強化、分野別階層別教育の見直し整備）
- ・即戦力人材の採用強化（年次有給休暇の取得促進）
- ・有休取得目標の設定 2016年度 年8日以上取得（年間6日未満の有休取得者ゼロ）
- ・労働組合と一体なった取りくみの推進
- ・年休の時間単位取得制度導入（2014年度実施済み）
- ・有休取得の少ない社員職場上司に対して有休取得計画作成と計画実行のための職場環境整備を指示
- ・有休取得が十分でない職場に対して、長時間残業対策と連携した働き方の変革、人員再配置等検討

③「仕事と介護の両立支援」

“働きながら大事な家族を介護したい”という思いを持つ社員に対し、会社・同僚・家族・地域のサポートを得ながら雇用を継続できる道を用意することで、個人の生活と仕事の両立を支援する。そのために次の介護休業に関する拡充を行う。（2013年度実施済み）

- ・介護勤務期間の延長（最大3年）
- ・介護勤務期間終了後も短時間勤務契約社員として雇用継続（正社員への復帰あり）

3. 取組実績・効果

<2015年度実績>

1) 残業削減と年次有給休暇

- ①人的資源の育成・再配置（12～15年度で約300名の職種変更を伴う育成・再配置実施）
- ②総労働時間 対前年比4時間削減
- ①年8日以上取得した社員の割合89%（年間6日以上有休取得者96%） 対前年度比3P改善
- ②時間単位有休制度を利用した社員70%（制度浸透に一定の成果） 対前年度比10P改善

2) 仕事と介護の両立支援

- ・介護休業制度利用者・・・10名